

いちょうだより



令和5年11月29日
天童市立天童中部小学校
校長 石澤 明子

持続可能で多様性と包摂性のある社会の創り手を育むために！！

— 全国学力・学習状況調査から天童中部小の“学び”を考える —

4月18日に6年生を対象として実施しました全国学力・学習状況調査の結果が届き、6年生には9月の面談の際、個人結果票をお渡ししております。内容は2つで、「国語・算数の学力検査」と「学習（生活）状況調査のアンケート」です。9・10月に校内で今回の結果を分析し、後期の学習や学校生活に生かしているところです。この調査から見てきた本校の状況についてお知らせします。

この調査は、6年生の学力・学習状況の特徴的な傾向を、学校全体の成果と課題として捉えて、教職員と保護者の皆様と共有して、今後、何を大切に子ども達を育てていけばよいのか、どのようなことに取り組めばよいのかを考えるための資料となるものです。本校の子どもたちがどのような特徴をもち、今後つけていかなければならない力はどんな力なのか…などをしっかりと分析し、学校では今後の授業づくりや学校全体の教育活動の改善に取り組んでいきたいと考えています。

◇ 全国学力調査の結果から ○…成果が見られた力 △…課題が見られた力

結果を丁寧に分析したところ、概ね下記のような本校の成果や課題が見えてきました。

国語

- …「原因と結果」など情報と情報との関係について正しく読み取り理解する力
- …学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる力
- …日常使われている敬語を正しく使うことができる力
- △…目的に応じて、文章と資料（図表・グラフ等）などを結び付けて、必要な情報を見つける力
- △…情報を整理して目的に応じて活用する力

算数

- …伴って変化する二つの数量の関係に比例関係があるかないかを説明する力
- …正方形の意味や性質について正しく理解する力
- …（ ）を用いた式や加法（たし算）と乗法（かけ算）の混合した式を用いて、場面と関連付けて立式する力
- △…数量関係や図形の面積の大小を考える問題で、その理由を言葉や数を用い、記述して説明する力
- △…日常生活の場面を解釈して、算数で学んだ計算や考え方を活用して課題解決する力



以上のように、これまでの学習や取り組みの成果とともに、課題として“今後さらに伸ばしていかなければならない力”も明らかになりました。特に、両教科に共通して言えることは、基礎的な力（漢字や敬語、計算や図形の性質等）はおおむね身につけていますが、その力を活用して日常場面や発展問題を解決していくことに課題があることがわかりました。学校として真摯に受けとめ、さらに教育課程や授業に改善・工夫を加え、わかる・力のつく授業づくりに取り組んでいきます。小学校6年間で身に付けなければいけない力をしっかりと積み上げていきたいと考えております。